

「いつも読んでいただき、ありがとうございます。」

【住宅・店舗の設計・施工・監理】株式会社 **ミズノ** 空間設計 **ミズノ** ~1950年4月1日創業。創業76年目です。~

【会社創業より 27790日(5月1日付)】

2026年5月1日(金曜日)発行/発信237号



~建築は、建てることより育てること~

vol.231

令和8年5月号

MIZUNO "旬感"だより

くんふう

薫風

若葉や青葉の爽やかな
香りを運んでくる風

今月の言葉

『自分にとって
居心地のいい状態を知っておく』

養老孟司著 “人生の壁” より

何かにつけて怒りっぽい人がいます。他人から見ると小さな問題であっても、見過ごせないようです。

その結果としてSNS上などで結構「炎上」していることもあります。私は基本的にそういう話には関わらないようにしています。彼らが無駄に敵を作っているように見えるのです。

そもそも、いつも誰かに文句を言っているというのは、幸せな人とは思えません。

儒教の伝統的な教えに「修身・齐家・治国・平天下」があります。己の身を修めて律し、家を整え、国を治め、天下が平和になる、ということです。自分の思うようにしても矩を躓えない。つまり世間の規範から外れない、人に迷惑をかけない。

その修身ができていないのに「あいつが悪い」「これが悪い」などと言っても仕方ありません。本当に幸せな状態とはどういうものか、わかっていない人が多いのではないのでしょうか。

料理研究家の土井善晴さんの著書『一汁一菜でよいという提案』(新潮文庫)にとても良い文章があります。

「暮らしにおいて大切なことは、自分自身の心の置き場、心地よい場所に帰ってくる生活のリズムを作ることだと思います。その柱となるのが食事です。」

これを私は「自足の思想」と呼んでいます。自分自身が幸せな状態をつくるのが一番大切だという考え方です。政治や社会に関する大きなテーマを考えるにしても、個人のレベルで基本にすべきは、この考え方ではないのでしょうか。

水野博旨

—本社移転のお知らせ—

この度、業務の強化と利便性を鑑み、本社を設計部のある東区の名古屋陶磁器会館へ移転しました。今まで以上にお客様へ幅広く対応して参りますことをお知らせいたします。

港区の皆さま、ご安心ください!



今までの本社である港区七番町では「港支店」として、従来の業務を続けております。住宅に関するお困りごとやご要望は、いつでもご相談ください。

この旬感だよりは
ホームページでも
ご覧いただけます。

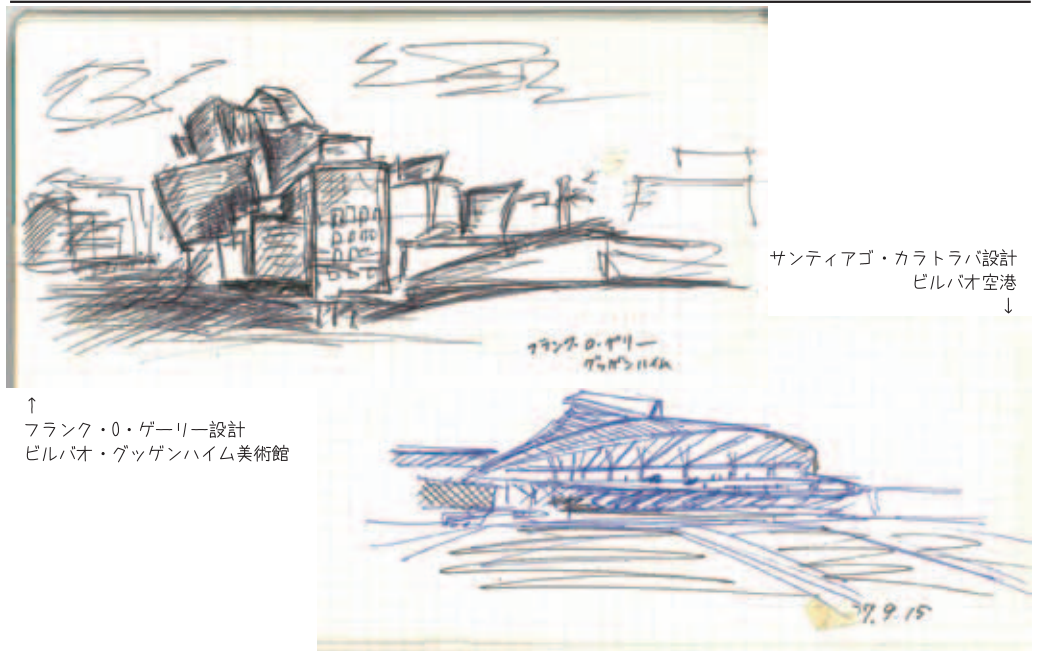
株式会社 **ミズノ** ホームページ →
www.mizuno1950.co.jp



空間設計 **ミズノ** ホームページ →
www.mizuno-architects.com



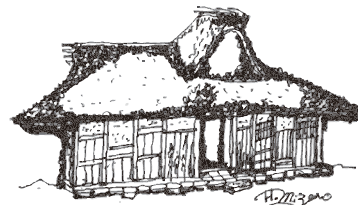
空間設計 **ミズノ** のデザイン記録 vol.108



↑
フランク・O・ゲーリー設計
ビルバオ・グッゲンハイム美術館

サンティアゴ・カラトラバ設計
ビルバオ空港 ↓

今回は、私が学生時代に描いたスケッチで建物をご紹介します。約19年前の2007年9月、大学時代にリュックサック1つでスペインを3週間程気ままに旅した時のものです。スペインといえばアントニ・ガウディの建築が有名ですが、現代建築の宝庫でもあります。いずれも北部ビルバオの建物で、上はフランク・O・ゲーリー設計のビルバオ・グッゲンハイム美術館、下はサンティアゴ・カラトラバ設計のビルバオ空港です。チタン外装がうねる美術館は光をまとめて街を変え、空港は白い曲面が翼のように伸びる軽快な構造です。スケッチでは自由な重厚さと飛ぶような軽やかさの対照的な建築の魅力を描き分けました。 スケッチ・文：水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の
高い木造物を残すための専門家

デザイン様式『アール・デコ』にはどんな魅力がある？

以前紹介したミッドセンチュリーよりも前の時代、1920～30年代にパリで発祥・発展したアール・デコ。1925年のパリ万国装飾美術博覧会を機に全盛を迎え、ヨーロッパやアメリカを中心に世界で流行しました。線や記号などの幾何学的で洗練されたモダンな造形と、時代の先進性を感じさせる華やかさが魅力で、多くの建築家やインテリア、ファッションデザイナーに影響を与えました。それまでの曲線的で一点製作が多かったアール・ヌーボーのデザインに代わって、大量生産とデザイン性を兼ね備えていたことも流行の一因です。中でも代表的な建築家・デザイナーであるアイリーン・グレイをご紹介します。彼女の作品は今も製造されていますので、見たことのある方やご愛用の方もいらっしゃるでしょう。彼女が恋人と過ごすために建てたヴィラ「E.1027」を舞台にした映画『ル・コルビュジエとアイリーン 追憶のヴィラ』で、装飾を排した機能主義を志向するル・コルビュジエと装飾と機能を融合させたアイリーン・グレイの対比や、当時の思想や空間が描かれています。映画に登場する「ピバンダム・ラウンジチェア」や「アジャスタブルテーブル E1027」が彼女の代表作で、座り心地と強いアイコン性、機能性を兼ね備え、優雅でありながら実用的なデザインを体現しています。



アジャスタブル
テーブル E1027



ピバンダム・ラウンジチェア

— ご相談やお問い合わせはこちらへ —

0120-387-312

mizuno@mizuno1950.co.jp



— 建築は、建てることより育てること —

株式会社 **ミズノ** 空間設計 **ミズノ**

一級建築士事務所



梅しごとを愉しむ ～その巻～

梅が旬を迎える5月中旬～7月上旬頃、収穫した梅で梅干しや梅酒など作ることを「梅しごと」といい、1500年以上前から続いています。梅には疲労回復や殺菌作用、抗酸化作用、整腸作用などがあるので、現代人にも重宝する健康食品です。

●作るものによって、梅の適正熟度が違います！

梅干しと梅ジャムは黄色くなった完熟梅で、それ以外の梅酒や梅シロップは緑色の青梅で作ります(ただし、カリカリ梅のような小梅は、緑色の完熟前に仕込みます)。熟しすぎて柔らかくなった梅は梅ジャムにピッタリですよ。

●青梅はアク抜きが必要、黄色い完熟梅はアク抜き不要です！

青梅のアク抜きは、【水に2～3時間漬ける】だけでOKです。その後洗って、水気を取り(キッチンペーパーや新品の布で拭き取る)、爪楊枝などで1個1個へたを取ったら(この作業がちょっと大変ですね)、下処理は完了です。※傷んだ梅はカビが生えやすいので、取り除いてください。

『梅と塩だけで作る』

基本の梅干し①塩漬梅』

- 作りやすい量—
- ・梅 5kg
 - ・塩 900g(梅の18%)
 - ・35度程度の焼酎 100cc
- 〈道具：容器、重石(5kg程)〉

- 出始めの青梅は追熟(常温で数日置く)後、黄色くなってから仕込みます。
- ① 梅全体に焼酎をまぶしかける。
- ② 塩→梅を交互に容器に最後は塩を入れ中蓋の上から重し(梅と同量)を乗せる。
- ③ 白梅酢があがるのを待ちます。(次回へ続く)

【容器は洗って熱湯をかけ、内側(蓋も)を焼酎などアルコールで拭いてからご使用ください】

『炭酸で割ったらクラフトコーラ！』

スパイス梅シロップ』

- 作りやすい量—
- ・梅 500g
 - ・砂糖(氷砂糖・きび砂糖・黒糖などお好みのも)500g(梅と同量)
 - ・シナモンスティック1本
 - ・クローブ 10粒程
 - ・カルダモン 10粒程

- 全て容器に入れ、砂糖が溶けるまでは1日に何回かゆすって混ぜます。約1か月～飲めます。炭酸割りの他、アイスクリームにかけるのもオススメ。

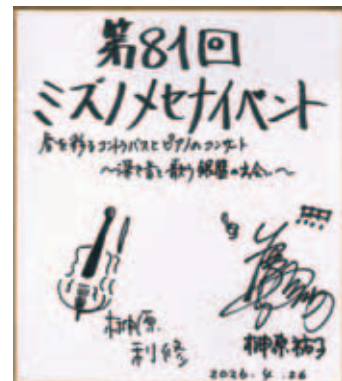
第81回ミズノメセナイイベントのご報告

さかきばらとしのぶ さかきばらさちこ
神原利修 & 神原祐子

春を彩るコントラバスとピアノのコンサート

お二人での演奏は3回目、様々な楽器などとのコラボを合わせると10回目のご出演です。メセナイイベントを始めて21年になりますが、もちろん最多出演のお二人です！前回とても好評だったお二人のトークタイムを交え、クラシックから昭和歌謡のアレンジなど幅広いジャンルの名曲を聴かせていただきました。ご来場のみなさんからはこんなお声をいただきました。

- コントラバスの生演奏は初めて、しかもこんな間近で聴けて感動しました。
 - 息の合ったお二人の演奏がとても心地よくて癒されました。
 - 温かいお人柄が溢れるトークも楽しく、もっと聞きたかったです。
- また、3月に開催されたチェコ2都市での演奏会の様子を映像で見せていただき、音楽大国チェコの歴史ある美しい街並みにも魅了されました。



ご来場の皆さん、
神原利修さん、祐子さん、
ありがとうございました！



■建築家で起業家の父が息子に綴る「人生の設計図」

著：谷尻誠



この本は建築家であり起業家としても活躍する谷尻誠氏が、息子に向けて生き方、考え方を綴った1冊です。

建築における設計と同様に、人生にも目的や構想、そして柔軟な修正が必要であるという考え方は、とても共感しました。特に印象的だったのは、「不利益」の話です。完璧な便利さより、不便でも愛せるものを取り入れることで、どう変えていこう、何が必要だろうと考えることが増えます。こういった「不便さから生まれる利益＝不利益」こそが、価値あるものというのです。今の住宅は高气密や高断熱など、何かと便利に作られています。と同時に考える機会を減らしています。谷尻氏は幼少期の不便な生活から思考力、設計力を培っていたのだと思い、不便の大切さを学びました。

この業界で著名な方は、一流大学を出ていたり、高名な設計事務所で修行されている方も多く、私自身の学歴がコンプレックスになることもあります。専門学校卒の谷尻氏は自らで考え、道を切り開いたと知り、心強く感じました。これはご自身の子供に書かれた本ですが、私自身の将来について、改めて考えるきっかけとなりました。

改めて、株式会社ミズノ・空間設計ミズノのご紹介

住宅や店舗の建築・リフォーム・リノベーション等の設計・施工を承っています。本社と設計部・空間設計ミズノ(一級建築士事務所)は東区の名古屋陶磁器会館内にあり、港区七番町の旧本社は港支店として今まで通り稼働しています。どちらの場所でもご相談が可能です。夜間や土日祝日、小さなお子様連れでも大丈夫です。



本社・設計部 空間設計ミズノ
(名古屋陶磁器会館内)



港支店(旧本社)

本社は1階103号室
空間設計ミズノは2階204号室です。

2階が事務所です。ご用の際は北側の階段をお上りください。

本社103号室にて 毎月第1・第3火曜日 13時～15時

建築士に話す
建築士と考える
ちょっとした疑問も
お気軽にどうぞ。

建築相談会(無料) 開催します。

6/2・16 7/7・21 8/4・18
13:00～15:00 13:00～15:00 13:00～15:00

無料
予約不要

予約不要です
ので時間内に
お越し下さい。

会社情報や
施工例は
こちらにて

株式会社ミズノ



空間設計ミズノ



建物に関するお困りごとや
ご要望は、お気軽にお電話
やメールでご相談ください。

お客様専用フリーダイヤル 0120-387-312 mizuno@mizuno1950.co.jp

住宅・店舗の設計・施工・監理 - 1950年創業 -

株式会社 ミズノ

□ 徳川本社 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番3号
名古屋陶磁器会館1階103号室
【お客様相談窓口 0120-387-312】

空間設計 ミズノ

□ 設計部 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番3号
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL 052-982-8316 FAX 052-982-8357

〈一級建築士事務所〉

□ 港支店 〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL 052-652-6886 FAX 052-661-0653

住宅・店舗等の新築設計施工/リフォーム・リノベーション・
コンバージョン(用途変更)の設計施工/エクステリア・
ランドデザインの設計施工など、ご相談ください。



◆地下鉄 桜通線 高島駅・車道駅より徒歩20分
◆市バス 赤塚白壁バス停より徒歩5分

Google Map



〈本社・設計部〉

〈港支店〉



◆地下鉄 名港線 東海通駅より徒歩3分
◆社屋南側に駐車場あり